

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年10月21日公開

## イラク・キルクークで ISIS とトルコが攻撃

.....  
イタリアのローマから、シャローム！誕生日のお祝いメッセージをありがとうございます。でも、誕生日は明日土曜日で、44歳になります。どんどん歳をとっていきます。今日はこの数時間のうちにイラクとシリアで起こった2つのことについてお伝えしたいと思います。

では、今日のアップデートで一番お伝えしたいことに進んでいきましょう。それらは2つあって、互いに絡み合っています。1つめは、オバマ政権が今、宣伝活動目的でモスルを占領するため、膨大な軍隊や連合国をイラクに進めたことについては前回にお話ししました。このモスル攻撃のタイミングについては、私は疑問を感じていて、2年前の2014年にISISがモスルを占領した時に出来ていたはずの事、行っているべきだったことを、大統領選の3週間前の今になってやっているのは、明らかにおかしいことです。

しかし、理解しておくべきことはそれだけでなく、あちらでは現在、とても大きな問題が起こっています。モスルはキルクーク油田の北西に位置しています。なぜそれが重要なのかというと、ここはISISにとって最大の資金源だからです。ISISが資金を稼ぐ方法は大きく分けて4つあります

- ① 彼らが殺害した人々の所有物を奪い取る。
- ② 人を誘拐し、解放する代わりに身代金を要求する。多くの国が、何百万ドルというお金を密かに、メディアから隠れて渡しています。日本や西ヨーロッパ、南米、アジア諸国、そういった国々が自国民を解放してもらうために、高額の身代金を渡しているのです。
- ③ 古代都市から無数の骨董品を盗み、それらを販売して何百万ドルという資金を稼いでいます。
- ④ しかし、ISISにとっての最大の資金源は石油です。

ISISは数々の油田を占拠しており、その中で最大なのがキルクーク油田です。クルド人の町、キルクークの隣にあって、クルド人が支配していたのですが、突然ISISが乗っ取りました。でも、ここで覚えておかなければならないことがあります。それは、この石油は、クルド人でもISISでも関係なく、ほしい者には半額で売られているのです。そもそも元々は彼らのものではありませんから。

そして、信じがたいことに、トルコはISISから石油を買っている最大の顧客です。ですから、トルコの最大の関心事はISISを生かしておくことです。私の見解では、トルコにとってISISは、石油を安く売ってくれるだけでなく、エルドアンもそこから分け前を得て、莫大な利益を得ているということです。その情報の一部が、トルコの大統領選前にメディアに漏洩しましたが、彼は多くの新聞社やテレビ局を閉鎖し、その報道はあっという間にト

ルコのメディアから姿を消しました。もう一つ、理解しておかなくてはいけないのは、トルコが ISIS の存在を非常に喜んでいているということです。なぜなら、彼らの存在がクルド人を攻撃するための口実に使えるからなのです。大きな口実がなければ、彼らはシリアやイラク北部に戦車を乗り入れ、行動に出ることができないのです。ISIS という存在は、どの軍にとっても、シリアに攻め込むため都合の良い口実となっています。

次に、現在起こっていることが、かなり衝撃的です。この 24 時間の間に、クルドがキルクーク油田 & キルクークの町を防衛するために奔走している間に、ISIS が自爆兵を使い、キルクークの町の一部を閉鎖、占拠。連合軍は、自分たちが取り戻したはずの村で、ISIS が人を殺し、そこを占拠していることに驚愕しました。その上、イラクの上級シーア派兵士と、イランの援助を受けているシーア派民兵は、メディアが報じているような速さですんなりとは動いていません。メディアはモスルが簡単に墜ちるようなイメージを植え付けていますが、これは、彼らが ISIS と戦っているように見せかけるための、ホワイトハウスのプロパガンダです。現在あちらでは大勢が殺害されていて、実際のところ ISIS は、連合軍が想像していた以上にずっと激しく戦っているのです。

もう一つ、起こっていることがあります。これについては誰もそれについて触れていないように思います。それはトルコがクルドを攻撃して、200 人以上の死者が出ています。このクルドは、ISIS との戦闘を援護するため、シリア北部からイラクに集まってきた、同じクルドです。彼らはトルコと戦っていたのではありません。すべてはトルコが、クルドの拡大と ISIS と戦うのを阻止したいのです。トルコは ISIS を生かしておきたいですから。ここで起こっていることはつまり、共通の目的を基にした ISIS とトルコの連合ですが、ロシアは沈黙しています。

ロシアはアレッポを「完全に」破壊することに一点集中しています。前回にもお話ししましたが、ロシアは現在、海軍の軍艦（8 隻の軍艦と空母）を地中海目指して移動中です。

これからお伝えしようとしていること二つ。

① ISIS がモスルの南東にあるキルクークの町を占拠し、逃げ出す代わりにさらにもう一つ町を占拠しました。

② そしてトルコはクルドを攻撃

ここで皆さんは「何てことだ！」「めちゃくちゃじゃないか！」「どうしてこっちはイラクでクルドを攻撃していて、あっちはシリアで攻撃しているんだ!？」

これらはすべて企てられた事なのです。

紳士淑女のみなさん。繰り返して言います。

中東諸国にとって ISIS は最高に都合の良い事物です。

住民にとっては、明らかに大迷惑ですよ！人々はひどく苦しんでいますから。しかし、国々は ISIS 大歓迎で、維持させたい。ISIS を口実に戦車を乗入れたり、やりたい放題のことが何でもできるからです。そして、現実問題をよく考えてみてください。

どうしてロシアが、自国から遠く離れたシリアに関心を示し、兵士や戦闘機や、海軍の大軍艦をはるばる地中海まで送り込む必要があるのでしょうか？ここでもロシアが ISIS を口実にしています。実際には、地中海の、彼らが狙っているもの—石油と天然ガス—を維持したいためです。

トルコの ISIS 利用はクルド人と戦うため。戦車を送り込む口実。

イランはシーア派を拡大させたいがために ISIS を利用。明らかにイランからイラクを通過してシリアまで、シーア派を貫きたいのです。イスラム社会の中でのシーア派はたったの 15% です。だから、人も領土も広げたいのです。

ということで、それぞれの目的があります。そして ISIS は、基本的には全員が戦車や軍隊、兵士をシリアに送り込む原因を創り出しました。これで、ISIS がどうして彼らにとって重要なのかはわかってきましたね。そして、アメリカやイラクシーア派が先導しているすべての戦略は笑い種です。どこの国もこの戦いには関心がないのです。

次にイランはどうしてこの戦いを容認したのでしょうか？前述の通り、彼らの頭の中にあるのは、シーア派を広げること。モスルはイラク最大のスンニ派都市で 140 万人以上のスンニ派住民が住んでいます。だからイランにとっては、ISIS がもう一つ町を乗っ取り、人々を捕虜に取り、町を破壊して、スンニ派住民が戻って来ないのなら、都合が良いのです。

そういうわけで、滅茶苦茶ですが、これら 3 か国の中でうまく調整され、計画されたものです。

さて、この図の中で、イスラエルはどこに位置するのでしょうか？

イスラエルは関わっていません。イスラエルはシーア派、スンニ派、ロシア、シリア、イランや、他の世界、トルコにもクルドにも、あの混乱の中に入りたいとは思っていません。唯一、イスラエルが戦うか攻撃を仕掛けようと思うのは、その存在を脅かされた時だけです。その時は当然、それが生物兵器だろうと、化学兵器だろうと、私たちに向かって放たれるなら、相手が ISIS だろうとシリアだろうと、イスラエルは確実に反撃します。そして、生物化学兵器や何か撃ち込まれるのを防ぐために、シリアのような町を攻撃したなら、

ほとんどの場合、そこは完全に破壊されます。イザヤ書 17 章に書いてある通りです。

これらすべてを通して、メディアが報道していないことを皆さんにご説明しました。FOX ニュースが「ISIS が、また反撃している」ということを少しだけ伝えていましたが、さらに違う町まで占拠しているという事実、シリア北部での ISIS 援護のためにトルコがクルドを攻撃しているという事実については伝えていません。

これらすべてが、世界のほとんどの国で忘れられています。なぜなら、何の意味もない演説や討論などで、皆が忙しいからです。いつからディベートのうまい者が良い大統領になると言われるようになったのでしょうか？全く理解できません。良い大統領とは、良い公約を掲げていて、良い人々を周りに置いている人です。話し上手とか、どれだけ周到に討論の準備をしたかとか、そんなことは全く重要ではありません。でたらめです。

私たちは、公約と取り巻きの人々を見ましょう。なぜなら、取り巻きの人次第で、成功するか、失敗するか決まるからです。本人云々ではないのです。私自身、会社の CEO として学びました。これは、大きな会社や組織を成功させる秘訣です。

神を知る人を、良い人、祈る人を自分の周りに置くこと。

だからこそ、私はドナルド・トランプを答えとしては見ておらず、副大統領候補のマイク・ペンスを見ていますし、他にもトランプの周りにいて、神の御心になかったアドバイスを与えられる人々に期待しています。私は中絶反対派で、命を尊重していて、そのために戦いますが、彼はそれらのことを理解しています。

おそらく、アメリカの皆さんに投票するようにと急き立てるのは、これが最後になるかと思いますが、この選挙戦はドナルド・トランプとか、ヒラリー・クリントンといった問題ではなく、全ては

「数えきれないほどの、生まれて来られなかった赤ちゃん」と

「皆さんの国の将来を握っている最高裁」、

「アメリカのイスラエルに対する立ち位置」

「国の基本である、家族の価値観」

これらのことで、トランプかヒラリーに囚われず、彼らの公約に注目してください。

この国を破壊した 8 年間を、また繰り返したいのですか？ヒラリーがしようとしていることは、そういうことです。それとも、これらを変えようとしている人を望んでいるのですか？繰り返しますが、トランプは自分一人でこれらを変えようとしているではありません。彼は素晴らしい人々を周りに置いています。

だから、この敗北感を振り払って、「もう、負けだ〜」とか「結果は決まってる！」とか、そんな思いを断ち切ってください！まだ、何も決まっていないのですから！選挙へ行って、投票すれば変わるかもしれないのです！

でも、もし選挙に行かず、物事を変えるために、一票を投じることすらしなかったとわかっていながら、夜、ゆっくりと眠ることなんてできますか？

ローマを歩いていた時、Behold Israel をフォローしてくださっている方何人かにお会いしました。ローマの真ただ中で、フォロワーがいるなんて考えられますか!?世界中に繋がっている人がいると分かると、本当にうれしくなります。また同時に、そのことで大きな責任を感じています。これだけ世界中に広がったということは、皆さんからの疑問や質問を宙ぶらりにせずには答える義務があります。

でも聖書の中に書かれていないこともあります。それに関して、私の最高の恩師であり、導き手であるチャック・スミス牧師に教えられたのは、「聖書が沈黙していることに関しては、私たちも沈黙すべきで、逆に聖書が明言していることについては、私たちも明確につたえなくてはいけない」ということです。それも聖書を語るのもあって、伝統とか、他のおかしなことや、太陽やら、月やら、星といったそんなことについては語りません。

私が伝えるのは、イエスご自身が弟子たちに聞かれてお答えになった「終わりの時のしるし」です。私たちに必要なのは、それだけです。

今日、私はとても重い気持ちでバチカンを訪れていました。どうして行ったのかというと、現在私はヨーロッパを探求していて、ミニストリーをできる限りヨーロッパに広げたいと思っているからです。ヨーロッパは非常に暗くて、反キリストは確実にここから出ます。だから、ヨーロッパの人たちは福音を聞かなければならないと私は思っているのです。すでにイタリア、ドイツ、その他ヨーロッパの国のいくつもの場所で招待を受けています。世界中どこでも、暗黒の場所には必ず「残された者＝レムナント」がいると信じています。

第一列王記 18 章で、バアルに膝をかがめなかった人がいたように、どこにでも必ず、神が取り分けておかれた人々がいます。健全な考えの人、祈る人々、御言葉を愛する人々、神を求めている人々、御言葉をもっと理解したいと思っている人。そういう人々が世界中にいます。もしあなたがそうなら、あなたも少数派のグループですが、それでもしっかりと守られ、世界中に広がっているグループの一員です。

私たちがよく話しているのは、「世界中にどれくらい本当のクリスチャンがいるのか、携拳の日までわからない」ということです。携拳はこれまでの歴史上最大のクリスチャンの集会で、その時私たちは初めて世界中から全員が集まります。その時になって初めて、何人いたのか、皆どこから集まってきたのかを知ります。そしてきっと、私たちはお互いの信仰や忍耐について、何時間も語り合うのだと思います。きっと素晴らしい時間になることでしょう。でも、それまでは働き続けなさいと聖書にはあり、その時まで私たちは御父の業に勤めます。つまらないことやこの世的なことで、無駄に時間を過ごしている暇はありません。

ローマ書 13 章終わりにはこう書かれています。

11……あなたがたが眠りからさめるべき時刻がもう来ています。というのは、私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。

だから、私たちは考え方、歩み方を変えなければなりません。

12 夜はふけて、昼が近づきました。ですから、私たちは、やみのわざを打ち捨てて、光の武器を身に着けようではありませんか。……

14 主イエス・キリストを着なさい。……

お話ししたいことがたくさんありますが、お伝えしたかったことのまとめ。

- ① シリアとイラクで起こっていること。
- ② ロシアの軍艦がアレッポを目指して大きく移動中。
- ③ ロシアはアレッポを、チェチェンのグロズヌイや他の地域と同じように、完全に破壊したい。彼らの思い通りになるかは、いずれわかること。多くの軍勢がひしめいているので、ロシアはそこを考慮すべき。

こういった事柄の只中にあっても、私たちは祝福された望みがあります。神の御前で隠れたままになっているものは何もありません。何も神から隠すことはできないのです。神は 2,800 年前、ご自身の預言者たちにこれらのことが起こると言われたのです。それなのに、どうして私たちはそんなに恐れ、落ち込むのでしょうか？ 私たちが恐れてはならないことを、聖書は伝えています。第一テサロニケ 5 章で、これらのことがすべて起こり始めたら、私たちはお互いに励まし合うようにと言っています。私たちは神の裁きに定められてはおらず、携拳がすぐそこまでやって来ているからです。そして、私たちが主の元に集められるという意味だから、元気を出さなくてはいけません。本当にワクワクします！

引き続きご視聴ください。

God bless you all!

I love you!

明日 44 歳の誕生日を迎え、新しい歳に突入していく私のためにお祈りください。これからも御国のために実を結んでいきたいと思ひます。引き続き、神に栄光を帰し続けたいと思ひます。どんな栄光も自分には向けず、すべてを主にお帰ししていきます。主が現在されていることに、また主がまさに行われようとしていることに、神を褒め称えます。そして、私たちは、…何か価値のある…というのではなく、どうか良いしもべだと思ってもらえるように、主が私たちを迎えてくださった時に「良い忠実なしもべだ」と思ってもらえるように、信仰を保って、前進し続けましょう！後ろは振り返らないで、倒れたなら立ち上がり、土を払ってまた進みましょう。ウジウジしたり、鬱になったり、不安になったり、世の中に振り回されたりする時間はありません。世的な事に目を向けている暇もありません。今、一番重要なのは、主が私たちに残された、わずかな時間の中で主に仕えることです。

御父の業に励み、御言葉に浸り、人と共に祈り、繋がる。御言葉をただ聞くだけでなく、行動し、主を信頼する。

ただ読むだけで、事が起こった時に不安になって、パニックにならないようにしましょう。なぜなら、世は私たちを見ているのです。もし、私たち祝福を持つ者がパニックになれば、世の中はどれほど私たちの信仰から離れてしまうでしょう。もし、私たちの信仰、祝福された望みが私たちに希望を与えないのなら、理解を超える平安を与えることができないのなら、それは一体何のためにあるのですか？私たちはそれをきちんと理解しなければなりません。

エレミヤ書 17 章にはこうあります。

7 主に信頼し、主を頼みとする者に祝福があるように。

8 その人は、水のほとりに植わった木のように、流れのほとりに根を伸ばし、暑さが来ても暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、いつまでも実をみのらせる。

だから、あなたがもしこの暗闇の時にも、自分の葉を緑に保ち、実を実らせたいなら、暑さが来ても、干ばつが来ても、とにかく主を信頼しましょう。神が喜ばれることについて、聖書を通して神が伝えておられるのは、イスラエルが主を信頼した時です。特に、荒野に

いた時です。荒野での出来事は、神とイスラエルのラブストーリーです。実際のところ、神以外に他に何もありませんでしたから、彼らは神に信頼することを覚えなければならなかったのです。昼間は雲の柱、夜には火の柱を与え、マナを与え、岩から水を出し、紅海を分けたのです！

主は、私たちが主を信頼さえすれば、私たちのために実に多くのことをしてやりたいと思っておられます。そして、荒野では、私たちも主を信頼するのです。でも、問題は、私たちがいつも、約束の地に入ったとたん、全てが良くて素晴らしいと、必ず、いろいろな物を所有し始めると、つい、主を忘れてしまうことです。そして、そういう時、主はとてものがっかりされるのです。ですから、あなたがどれほど裕福でも、どれほど貧しくても、神を信頼して、すべてのもので主をたたえ、主があなたをいつでも繁栄させてくださると信じましょう。

たくさんお話ししましたが、引き続きフォローをお願いします。Instagramではローマの美しい写真を載せています。また、私たちのアプリ Behold Israel では、日々のニュースがイスラエルから届きます。ライブやブログの最新情報のお知らせが届きます。ウェブサイトもご覧ください。You Tube もチャンネル登録をよろしく。新しいことが起こるたびにこうして情報をお伝えしているのと、新しいメッセージをどんどんアップしていきます。

I love you all!

Shalom From Rome!

God bless you!

明日の私に、Happy Birthday!

Thank you very much!

I love you all!

さようなら！

---

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---



「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにしてはならない。」ヘブル 4：7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO